

The Weekly Journal

Rotary



東京臨海ロータリークラブ 東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ



SERVE TO CHANGE LIVES



クラブ会長ターゲット
「ロータリアンとしての成熟」
"REACH MATURITY
AS A ROTARIAN"
2021-2022年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐藤大輔



国際ロータリーテーマ
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
"SERVE TO CHANGE LIVES"
2021-2022年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ



衛星クラブ議長ターゲット
「クラブライフを楽しもう」
"Enjoy club life"
2021-2022年度
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長
坂本康朋

2022年2月16日

東京臨海 RC 【第1230回例会】
東京臨海北斗 RSC 【第39回例会】

東京臨海RC

創立：1994年8月8日
会長：佐藤大輔
副会長：杉浦孝浩
幹事：勝間田健一
プログラム
構成委員長：田中紘太
(会報担当)

東京臨海北斗RSC

創立：2020年12月18日
議長：坂本康朋
副議長：小松啓祐
幹事：勝間田健一

2月16日の卓話

「イニシエーションスピーチ」
東京臨海北斗RSC会員 藤中靖大様
東京臨海RC会員 今翔乃様

3月8日(火)の卓話

「未定」

《2022年2月2日ハイブリッド例会報告》

東京臨海 RC 第1229回
東京臨海北斗 RSC 第38回

司会：内海会員

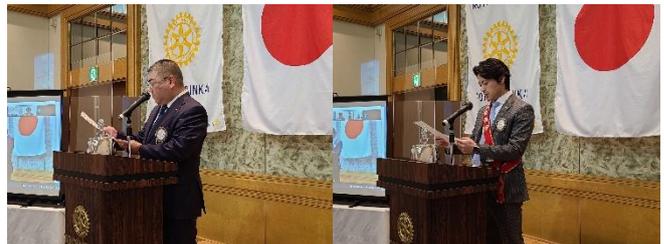
- 点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長



- 国歌斉唱「君が代」
：ソングリーダー：今井会員
- ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」東京臨海 RC 抜萃 Ver. 唱和
：杉浦副会長



- 来賓・ゲストスピーカー紹介：佐藤大輔会長
ゲストスピーカー 笹島弘隆様
熊澤健司様
" "
- ビジター紹介：柴田剛会員
本日は、いらっしやいませでした。



- 2月のお祝い：親睦委員会 篠塚委員長

- ◆会員誕生日
臨海 RC：佐久間裕章会員、尾身治彦会員
北斗 RSC：山口雅弘会員



◆奥様誕生日

臨海 RC：山田晃久会員夫人、小林健一郎会員夫人、
白幡隆広会員夫人、笹本寛治会員夫人
北斗 RSC：該当者いらっしゃいません。

◆結婚記念日

臨海 RC：該当者いらっしゃいません。
北斗 RSC：小林誠会員、見浪大介会員

◆出席100%

臨海 RC：該当者いらっしゃいません。
北斗 RSC：該当者いらっしゃいません。

◆「誕生日の歌」：ソングリーダー：今井副委員長



◆1分間スピーチ：尾身会員

■会長報告：佐藤大輔会長



・入会式

東京臨海RC新会員：小松靖教様

- ① 職業分類：財務コンサルティング
- ② 推薦者：佐久間裕章会員・尾身治彦会員
- ③ カウンセラー：小松啓祐会員
- ④ 所属委員会：職業奉仕委員会



- ・一般財団法人比国育英会バギオ基金より、感謝状が届いておりますので贈呈致します。
第1回感謝状：佐久間裕章会員・杉浦孝浩会員



■幹事報告：勝間田幹事



- ・次週2月9日の例会は、休会です。
- ・ロータリーの友2月号、東分区インターシティ・ミーティング報告書を本日メールボックスに配布しました。
- ・ガバナー月信2月号は、2月1日会員皆様へメール送信致しました。
- ・2月のロータリーレートは、1ドル=115円です。
- ・東京臨海RC下半期分クラブ会費の納入を1月中にお振込みでお願いしておりました。未納の方は、お早めをお願い致します。
- ・定例理事役員会を本日2時より、3階「藤菊の間」で開催致します。

■委員会報告

- ・プログラム担当（代読 井上 SAA 委員長）



新会員の皆様のイニシエーションスピーチが一巡しましたら、在籍の長い会員から順番に、「リバイバルイニシエーションスピーチ」を依頼させて頂くことになりました。お一人15分の持ち時間です。会員の皆様、ご協力よろしくお願い致します。

■出席状況報告：今井会員



(ハイブリッド例会・まん延防止等重点措置期間)

東京臨海RC

会員数：60名
出席：37名（例会場：33名 ZOOM：4名）
欠席：23名
出席率 63.79%

東京臨海北斗RSC

会員数：22名
出席：10名（例会場：3名 ZOOM：7名）
欠席：12名
出席率 45.45%

■ニコニコ BOX 報告：伊佐委員



(ご意向) 笹島さん、熊澤さん、イニシエーションスピーチ楽しみにしております。: 佐藤会長、杉浦副会長、勝間田幹事、井上会員、本多会員、須藤会員、今井会員、斉藤会員、寺田雄司会員、米衛会員、坂本康朋会員、村社会員、白幡会員、佐久間裕章会員、入澤会員、小松啓祐会員、栗山会員、内海会員、酒井会員、篠塚会員、今会員、田中会員、大西会員、尾身会員、金城会員、舛本会員、吉成会員、秋田会員、虻川会員、伊佐会員

(ご意向) 本日、イニシエーションスピーチをさせていただきます。: 笹島会員、熊澤会員

(ご意向) 妻の誕生日のお花、有難うございます。お陰様で機嫌が良くなりました。: 柴田会員

【31件 45,000円 今年度累計 1,085,000円】

■卓話 (紹介者：井上 SAA 委員長)



「イニシエーションスピーチ」
東京臨海北斗RSC会員 笹島弘隆様



皆様こんにちは。ただいまご紹介にあずかりました衛星クラブの笹島弘隆です。昭和51年6月25日生まれの45歳になります。生まれは青森県竜飛岬です。父は青函トンネルを掘っておりまして、竜飛側の現場の所長を務めておりました。私自身は工夫さんが暮らしている飯場で育ちました。父親の稼業がトンネル屋でございまして、ゼネコンの下請けで山の中に入って発破をかけてトンネルを掘る仕事を生業としていました。創業者は私の祖父で、大正6年生まれで、3年前に99歳で亡くなるまで日本中で難工事を手掛けましてトンネルの業界では神様と呼ばれていました。黒部ダムを作った時に物資の輸送ルートで重要だった大町トンネルがかなりの難工事で、「黒部の太陽」という石原裕次郎さんが主演の映画のモデルにもなりました。また、90歳になる前には、プロジェク

トXという番組に出演したりと高度経済成長期の日本の土木技術を下支えしたというような家系でございます。そういった背景の中で、私自身は、青函トンネルの工事中に生まれて竜飛岬の飯場で育ったんですけど、小さい頃は黄色いヘルメットをかぶって屋根がないジープに乗っている写真ですとか、刺青の入った土木工さんたちがお酒を飲んでいる中で一緒に写ってる写真とかばかりで、今考えると非常におおらかな時代だったなと思います。小さい頃は裕福な家庭に育ったという風感じております。家族は、妻は亜紀子と申します。宮城県女川町出身で漁師の娘です。仙台で出会ったんですけれども2011.3.11の東日本大震災で被災いたしました両親ともに津波で残念ながら流されました。義理の父は震災から2ヶ月ぐらい経った時に遺体が上がったんですけれども、義理の母はまだ遺体が見つかっていないという状況です。震災後は生き残った妻の弟夫婦と生き残った親戚8名ぐらいが神奈川に疎開してきまして半年間ぐらい一緒に生活しました。そういったこともあって非常に絆が深く、仲の良い家族だと思っています。子供は二人います。長女は、和珠(なごみ)と言います。今年高校受験でして、もうすぐ試験なのですがオミクロンのこともあり戦々恐々としています。将来はデジタルアートの世界に進みたいということで普通科へは進学をせずにデザインとかアート系の学部のある高校に進学しようとしています。普通の受験と違ひまして、デッサンの試験があります。小さい頃からよくiPadを使って絵を描いていたのですが、デッサンの試験は紙に直接描く試験のため、基礎がないためか、なかなか苦労して頑張っています。もう一人下に男の子がいます。旦陽(あさひ)と言います。小学校3年生の9歳です。学校の成績はあまりよくないですが、足がめっちゃ早く早いので、学校で人気者らしいです。家でもゲームばかりやって妻に怒られてますが、このまますくすく育てほしいです。

私の幼少期の話に戻りますが、恵まれた家庭で育ったこともありまして、すごい肥満児になりました。どのくらい肥満児になったかと申しますと、近所の公園にあった定食屋さんにある日食事に行ったんですけど、母親の斜め向かいぐらいに恰幅のいいスーツの紳士が座っていて、こっちをニヤニヤしながら見ていました。それを不審に思った母親が、あなた何ですか？と問いただしたところ、名刺を出してきました。名刺には「青森県相撲協会理事長」と書いてありました。「こいつは将来ものになるからもっと食わせろ」と3歳ぐらいで相撲大国の青森のドンからスカウトをうけるぐらい肥満児でした。相撲ももちろん立派な職業ですけど3歳で行く末を決めるのは、心苦しいということで翌日からスイミングスクール通いが始まりまして。水泳は馬が合ひまして、始めてからどんどんうまくなりました。小学校上がる頃には選手コースに入りまして、中学生や高校生と一緒に練習してました。朝4時半に起きてスイミングに行くと二時間泳いで学校行って、戻ってからまた練習に行くという生活でしたから、痩せていくのはもちろんどんどん速くなりました。県大会でも出る大会出る大会、新記録みたいな状況で、10歳で全国大会に出場しました。50メートルバタフライに出たのですが、結果は予選も通過できず、全国って凄いなと衝撃を受け、より水泳にのめり込んで練習にも拍車がかかり、記録も伸びました。県内でも東北でも一番で、目標もオリンピックというようなところまでやっていたのですが、中学二年の時に記録が伸びなくなり挫折を味わうこととなります。その理

由は身長が伸びなくなったことにあり、中学二年生から162センチの身長が変わっていません。水泳というスポーツは、フィジカルが重要なスポーツでしてオリンピックに出るような選手は180-190センチはあり、女子でも170センチ以上で、スタートして浮き上がりの時点で差がついてしまうような状況で、身長が低い選手は記録が伸びにくくなってきます。小さいころから筋トレし過ぎたせいなのか骨の生育に合わなくなって身長がとまってしまいました。ただ水泳が好きだったので、短距離の選手だったのですが、400メートル個人メドレーに鞍替えしました。この種目はどちらかという戦略の種目なので、なんとか高校2年のときに強化選手に選ばれて国体に出場することができました。結果は予選敗退だったのですが、そこで見切りをつけました。

将来どうしようかなという中で、家系はトンネルマンであり、父親からは勉強しろとは言われませんでした。二言目に現場に入れといわれる日々でした。それに反発するようにロックにはまりました。80年代イギリス発祥のパンクロックにはまりました。つるはしの代わりにギターだということで、バンドマンとして身を立ようと決意しました。通っていた高校は、県下でも有名な進学校で、毎年10人ぐらい東大に入るような学校だったので、皆大学行くのが当たり前という環境だったので、「現場」ではなく大学行きたい、そしてその大学4年間でバンドマンとしてデビューする足がかりを作りたいということで大学の進学を決意しました。東京には凄い奴がいるという肌感があつたので、仙台の大学にしました。東北学院大学に進学しましたが、勉強はする気もなく、いいメンバーと出会ってバンドマンとして生きていくぞという気持ちで大学生になりました。仙台は100万人都市でいるんなおもしろい人が集まる場所でいいメンバーに出会いバンドを組むことができました。スカパンクがはやり始めたころでプラスセクションのあるパンクバンドでした。KEMURIというバンドのコピーバンドを始めたのですが、半年ぐらいでチャンスがめぐってきました。地元で出入りするライブハウスの店長から、お前らKEMURIの前座やれと言われ、ターニングポイントだと判断しメンバーに相談せず返事しました。当初2-30人の観客の前でしかライブ経験がなかったバンドが、いきなり1000人の前でライブをやるチャンスとなり、そのライブが大成功したことがきっかけで2-300人は集まるようになり、仙台ではそれなりの人気バンドになりました。そうすると今度はCDを出さないかという話が出てきて、以降バンドマンとして成功して15年ほど活動しました。インディーズもメジャーも経験して、ナルト疾風伝というアニメのオープニングテーマを担当したり、スカパーJリーグ中継のオープニングテーマを担当したりして全国スタジアムを回ってライブしたりしました。35歳でバンドを解散しました。そのあと縁あって鈴木会員に拾っていただく形で今に至る、というのが私の半生になります。

ぜひまた機会がございましたらどんなバンド活動をしてきたか、詳しくお話ししたいと思います。結びになりますが、昨年9月に腹腔内出血を起こしまして1か月入院していました。退院してからも1か月位自宅療養が続いたのですが、妻の誕生日が10月6日で、毎年妻の誕生日にはレストラン行ったり、プレゼントしたりするのですが、それどころではない状況でした。そんな時にクラブから大変豪華な素敵なお花をいただきました。それをみて二人でなんて素敵なク

ラブなんだと感動しました。この場をお借りして御礼申し上げます。いただいた御恩はクラブ活動のほうで返していければと思います。本日はご清聴ありがとうございました。

東京臨海北斗RSC会員 熊澤健司様



皆さんこんにちは。本日はこのような機会をいただきましたありがとうございます。私は1980年(昭和55年)5月4日江戸川区篠崎で生まれました。母と父は自営業で中華料理屋を営んでおりました。それでこんな体になってしまいました。家族構成は、姉が一人、今は妻ゆかとまめおというマルブー犬と3人で暮らしております。南篠崎小学校、篠崎中学校と無事通過しまして、幼少の頃は柔道をやっておりまして、母親が、私の体が大きいので何かスポーツをさせたいと柔道をやらせていただいたんですが、その時に篠崎二中というところがありまして、週2回の柔道をまず遊び程度にやったのですが、そのうち真剣になっていきまして、全国を目指すような少年になって行きました。毎日夜11時まで柔道づくめで仲間と汗をかいて、江戸川区の大会では優勝をずっとしていました。中学校でも優勝したり、東京都大会に出ればベスト8、3位と有名校と肩を並べるようになりまして、高校からも推薦6校からいただきました。その中の一つの正則学園という私立の高校に入学しました。柔道を真面目にやっていたという反動が出たのかかわらないのですが、そこから親を泣かせるような生活をしてしまいました。家に帰らなかつたり、稼業の出前を手伝えば帰りにパチンコをやつたりでした。18歳の時に水商売の仕事を経験したりしました。

その後、本多会員がやっている株式会社ビクトリーに、入社しました。その時はユニックの操作も何も分からず、ただ走ればいいという感覚で入社して、まじめにやっていたつもりなのですが、遅刻したり、友達と夜中まで遊んで次の日休んだり、色々本多会員には迷惑をかけました。そこで1年間ぐらいお世話になりました。デコトラみたいなトラックに乗せてもらいまして、それを自慢したくて地元の篠崎中を友達を隣に乗せて走り回り、それが本多会員にバレて怒られたことを思い出します。最終的には本多会員にも見切りをつけられまして、クビという形で去ることになりました。そこからまた水商売の世界に戻って、錦糸町、千葉富士見町、小岩だったりで商売の仕方やお金の作り方というのを覚えました。そこから30歳ぐらいになったところで水商売から見切りをつけて、また違う世界で稼ぐということを決めました。どうしようもない人生にピリオドを打ちたいということで、姉の結婚式を機に、これ以上迷惑をかけられないということで、そのタイミングで大型の免許を取得しました。10Tダンプに乗ってみたいということで、10Tダンプの会社に就職しました。そこで4年半真面目にやったのですが、事故が多く、ドライバーとして向いていないと判断し、今始めている「軽貨物軽の冷凍車」をやつ

ている社長にお会いして、この商売をやれば儲かるんじゃないかと考えまして、すぐダンプを辞めて次の日から埼玉県まで毎朝通って勉強しました。そこでももちろん学んだのですが、社長という立場を利用した振る舞いからこれ以上得られるものがないと判断し、ノウハウだけ学び退職しました。

そのあと、独立し名刺を作って、インターネットで色々調べてアポを取って自転車で江戸川区をぐるぐる回り、名刺交換をして、色んな所につながることで、どんどんお客様が増えていきました。時に「君面白いねこの仕事やってみない」という形で、お話いただけたりもしました。そのうち信濃運輸さんに飛び込みで営業に行きました。最初1ヶ月は相手してくれなかったんですが、担当の方から7500円の仕事をいただくところから始めました。今でも仕事を頂いている状況なんですが、地元なので本多会員と信濃運輸の会長様が仲がいいと言うことを聞きまして、本多会員にひねりつぶされたらおしまいだなと思い、危機感を感じ昨年6月に本多会員の事務所に挨拶に行きました。その時は、アポなしで大変緊張しましたが、普通にずっと会っていたかのように席に座らせて頂いて、「知ってたけどこちらから圧力かけるみたいなことになると嫌だから声をかけなかったよ」という話をもらいました。さらに「少しずつでも、『くま』の仕事を後押ししてあげよ。無理があったらそんなに急がないから、無理があったら言ってね。」と言ってもらいました。これだけ人を裏切ったにも関わらず後押しをしてくれるってどういうことなんだろうと、ちょっと怖くなった部分もありました。しかしながら、法人会、大西先生の後援会やロータリーの方に紹介していただき、本多会員が全て巡り合わせてくれたお陰で何千万もの年商が変わりました。まだまだ発展途上ですが、日々仕事で迷惑をかけず、恩返しをするべく頑張っております。今コロナ禍の中で苦しい方もいらっしゃるかと思います。自分も正直苦しいです。苦しくない方はいないと思うんですが、こういった仲間として支えたり支えられたりできたらと思っております。ありがとうございました。

■点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長



当クラブ例会変更

- ◆ 2月23日(水) 休会
- ◆ 3月3日(木)の移動例会は、地区大会が延期の為取りやめ
- ◆ 3月8日(火)は、「東京臨海東 RC 創立記念合同例会」は延期、「東京臨海 RC・東京臨海北斗 RSC の例会」として例会開催